

情熱とエネルギーを持って どんどんやります!! — 香川を世界へ! 私からの13の提案 —

1.瀬戸大橋を観光資源として活用する

香川にはたくさんの世界一があります。まず鉄道と道路、併用橋としては世界最長の瀬戸大橋です。瀬戸大橋は他の橋とは違って、海と島と橋が一つの調和のとれた美しい風景をなしています。これに美しい彩色、デザインをほどこします。橋桁が多く、二階構造で面の部分が多いので、美しいアートのキャンパスになります。世界一穏やかなのほほんとした備讃瀬戸の美しい海と島そして美しい橋で、世界一の風景ができ、瀬戸内国際芸術祭のメインアトラクションにもなり、これは観光効果たっぷりです。備讃瀬戸のイメージに合ったファンタジーな彩色がいいです。

2.投資をよび込む

香川は世界一気候が温暖で、自然を災害が少ない。これを売り物にして、世界中から投資をよび込みます。香川に世界中の人が幸せになるような、世界をリードする商業施設、工業施設をたくさんつくります。そして雇用を安定させ、香川を豊かにします。今はほんの数秒で、ものすごい情報とお金が世界中をかけめぐります。香川に情報とお金を集めましょう。物と人とお金がドーンと動くところにダイナミズムが生まれ、発展、進歩を促します。

3.消費税のうち5%を県税とする

県の発展のためには、どうしても各県どうしの競争が大切です。そのため、まず現在10%の消費税のうち5%を県税とします。これによって各県どうしの消費競争がはじまり、地方は一気に活気づきます。観光客をたくさんよびこみ、商業施設、工業施設がたくさんできれば、消費は一気に増え、県の財源が一気に増え、県オリジナルの政策をどんどん実現できます。香川では、公共の交通機関の料金をすべて半分にして、利用客を2倍、3倍にします。SDGsの関点からもコミュニケーションという点からも、マイカーから公共交通へのシフトは必須です。現在、県は地方交付税という形で、国からお金をもらっていますが、これが県の財政を非常に消極的にさせています。できたらこれを廃止にして、消費税のうち5%を県税として、各県の格差という不公平の是正は、都道府県知事会でするようにして、県が主導権をにぎります。

4.JR高松駅構内への琴電の乗り入れをおこなう

公共の乗り物の料金を半分にしたうえで、琴電とJRをひとつに結んで、香川を一体化させます。JR高松駅構内への琴電の乗り入れをおこないます。観音寺発、丸亀発琴電瓦町行きの切符をどんどん発売して、高松と香川を一体化させます。

5.高松の街の魅力を発信

県都高松の発展を最重要課題と考えます。高松の魅力はあの商店街です。商店街を含む玉藻公園から栗林公園までの間を指定観光スポットにして、景観の維持、美化、発展に尽力します。瓦町から県庁までに地下ショッピングモールをつくり、高松を最上級の都会にします。琴電をどんどん利用していただいて、瓦町を香川の最都心とします。

6.少子高齢化対策

すべての人が最愛の異性と結婚して最高の家庭をきずく。これが幸せしか存在しない香川の基本とします。県がおもしろい楽しい婚活ツアーを企画し、結婚したいという独身者に、年齢をまったく問わず参加してもらいます。年何回もツアーを実施して、2、3回参加するうちに、みんなカップルになってもらいます。相手を見つけた人もそうでない人も、レポートを書いてもらい成功につなげられるようにします。年齢の高い人にも参加してもらい、香川の結婚率をかぎりなく100%にちかづけて、これを少子高齢対策の決め手とします。

7.基本的人権についての教育、すべての人の生きる権利についてみんなで話し合う

香川においては、基本的人権についての教育を、学校で社会でとことんおこないます。人間はみんな生きる権利を持っています。そのことについてとことん考えて、とことん話し合いましょう。すべての人の生きる権利が守られて、はじめてすべての人が幸せになれます。

8.日本国憲法のすばらしさを伝える

日本国憲法第三章、国民の権利と義務、憲法第10条から第40条までは、世界最高レベルのものです。まさに正義の知識、正義の知恵、正義の幸せの憲法です。何回読んでもすばらしい内容です。身体の自由、経済の自由、精神の自由のみならず適正手続きの保障、弱者の権利、法の下の平等、幸福追求の権利、健康で文化的な生活を営む権利、教育を受ける権利、公務就任権、裁判を受ける権利、国家賠償請求権、国と自治体への請願権、国政への立候補の自由、公務員の任命権、勤労の権利、すべて憲法が保障した国民が持っている権利です。人権については国連が1948年採択した世界人権宣言という画期的な国際基準があります。この世界人権宣言と日本国憲法を世界の憲法とすれば、世界平和も現実のものとなります。

9.全世界の軍事費約400兆円をすべての人を幸せにするインフラづくりに費やせば

現在、日本の一年間の防衛費は約8兆円です。全世界の一年間の軍事費は約400兆円です。この大部分をすべての人を幸せにするインフラ作りについやせば、すべての人が満ちたりた生活ができるようになります。ケインズという有名な経済学者は、「わが孫たちの経済的可能性」というエッセイの中で、1世紀のうちに人類はその永久的な経済問題、すなわち生命の基本的必要物をすべての人々に供給するという問題を解決できるであろうと述べています。

私は香川県知事になるにふさわしい情熱とエネルギーを持っています。私が香川県知事になったらどんどんやります。私の提案の実現には、費用のかかるものが多いですが、国の予算で、財政投融资とか、ファンド、スポンサーとかいろいろな方法を考えて実現に向けて努力していきたいです。県民の皆さま楽しみにしておいてください。

10.政府の経済政策、財政出動が国民全体に豊かさをゆきわたらせる

経済を発展させる原動力は、技術革新そして新技術です。その技術革新、新技術をさらに発展させ有効利用するための労働の質、勤労意欲を高めること、そこに政府による経済政策があつて、豊かさは国民全体にゆきわたります。技術革新によって生産性がアップしたなら、相応の財政出動をおこなう必要があります。経済的にいって、消費行動は投票行動です。国も個人も、国民を満足させ、国民を幸せにするような商品を作っている企業の商品にお金をだして、そのお金でその企業はさらに。いい商品をつくる。そういう好循環をつくりましょう。技術革新、新技術を基礎として、あらゆる方向からすべての人が努力して、向上心と活気がみちあふれた社会つくることが肝要で、そこに政府の経済政策、財政出動をおこない、豊かさを国民全体にゆきわたらせる。これが豊かさの好循環サイクルです。

11.人類が経済成長を追い求める目的

人類が経済成長を追い求める目的は、満足と幸福および人間的成長です。満足感を得るため、幸福感を得るため、人間的成長するため一生懸命努力することは、向上心であり、非常に望ましい行為です。

12.世界中のすべて人、ロシアの大統領、ウクライナの大統領、イランの指導者の方をふくめて、すべての国の指導者の方、人間としていちばん正しいことをやりましょう

世界中のすべての人が人間性を豊かにして、人間としての度量を大きくして、人間としていちばん正しいことをやりましょう。これによって世界平和は実現します。

13.世界条約機構をつくり、人間世界憲法をつくる

世界中のすべての国のすべての人の生きる権利を守りましょう。そのために北大西洋条約機構、NATOのような有効に作用している軍事同盟に、世界中のすべての国が加盟します。名称は世界条約機構とします。そして世界憲法をつくります。世界憲法の内容は、世界中のすべての国のすべての人の基本的人権を守ることにつきます。この世の中に存在する人間は、同じ知性、理性を持っています。これを神性(神の心、正しい心)ということが出来ます。この神性(神の心、正しい心)によって人の心をひとつにして、心の面で世界をひとつにする。世界のすべての人の心をひとつにした、人間世界憲法をつくりましょう。これによって世界平和は実現します。

世界一の100万都市香川を作りましょう

曽根 克典
そのね かつのり